

記者発表資料
令和2年1月6日
(担当) 交通局整備課
今野、佐藤
(内線) 750-2340
(直通) 712-8324

「ドライバー異常時対応システム」の体験会を開催します

仙台市交通局では、乗客の安全確保に向けた取り組みとして、今年度「ドライバー異常時対応システム（EDSS※）」付き一般乗合路線バス25両を購入しました。

つきましては同システムの報道機関向けの体験会を行います。

- 1 日時 1月10日（金）14：00～
- 2 場所 交通局荒井車両基地構内（若林区荒井字矢取東46-1）
※取材を希望される場合は、上記時間までに車両基地の管理棟前に集合ください。

※EDSSについて

ドライバー異常時対応システムとは、走行中にドライバーが急病などで安全に運転できない状態に陥ったときに、乗客や乗務員が非常ブレーキスイッチを押すことで、減速して車両を停止させるシステムです。

スイッチが押されると車内では音声アナウンスと赤色フラッシャーランプにより、異常時であることを乗客に伝達します。さらに、車外にはホーンを鳴らし、ハザードランプとブレーキランプを点滅させて異常事態を知らせます。



出典：https://www.isuzu.co.jp/press/2019/6_11.html いすゞ自動車HPより（検索日：2019/12/13）